

児童手当 認定請求書

記入例

請求者は、主たる生計維持者(父母等のうち、所得の高い方)

厚生年金に加入の場合は「ア」国民年金等加入又は年金未加入(生保)の場合は「ウ」に○

提出年月日	令和 ●●●●●●	記入日	令和 ●●●●●●
※認定・却下年月日	令和 ●●●●●●	※支給開始年月	令和 ●●●●●●
市記入欄		市記入欄	

①(ふりがな)	みよし たろう	②性別	男	③生年月日	昭和 平成 ●●●●●●	④職業	ア. 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者	⑤配偶者	有
氏名(法人名等)	三次 太郎	1月1日時点の住所(1~5月分は前年、6~12月分は本年)		令和6年1月1日時点の住所が現住所と異なる場合に記					
⑥住所(法人の主たる事務所の所在地)	〒728-0000 三次市十日市東〇丁目〇-〇〇		電話 090(0000)1111		令和5年分の申告内容不明の場合は未記入でも可(市で確認します)				
⑦個人番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1	⑧請求者の加入している公的年金制度の種別	ア. 厚生年金保険 イ. 国民年金 ウ. その他( )		令和5年分所得不明の場合は未記入でも可(市で確認します)				

⑩(ふりがな)	みよし はなこ	⑫生年月日	昭和・平成 ●●●●●●	⑬所得の状況	令和 年分所得額 (請求者) 〇〇〇〇〇〇〇〇
氏名	三次 花子	⑭職業	イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者	⑮個人番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 2
⑪住所(⑥と異なる場合)	請求者の住所と異なる場合に記入		1月1日時点の住所(1~5月分は前年、6~12月分は本年)		令和6年1月1日時点の住所が現住所と異なる場合に記

⑯児童の兄姉等(18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)	氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	[注意] ⑯「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。(⑯児童の兄姉等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に限る。)	※算定対象の場合に○印
	三次 一郎	子	平成 ●●●●●●	有	有	同・別	令和 年 月		
下記⑰の児童の兄姉等で 平成14年4月2日~平成18年4月1日生まれの子を ※監護し、生計費を負担している場合に記入(※詳しくは別紙)									
						同・別	令和 年 月		

⑰ 児童	氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所(別居の場合)	※児童との関係該当する場合に○印	※第3子以降の場合に○印	※3歳未満の場合に○印	※左記以外の場合に○印	※手当月額
	三次 二郎	子	平成 令和 ●●●●●●	有	同一維持	同・別	令和 年 月	広島市安佐北区〇〇〇寮	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円
	三次 三郎	子	平成 令和 ●●●●●●	有	同一維持	同・別	令和 年 月			(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円

受給者が養育している、平成18年4月2日以降に生まれた児童について記入

【監護の有無】児童の生活について通常必要とされる監督、保護を行っていること【生計関係】「同一」請求者自身の子で、生計を同じくしている「維持」請求者自身の子ではないが、生計費の大半を支出している

住民票上の住所が請求者と同じなら「同居」に○ 「別居」の場合は『児童手当 別居監護申立書』を合わせて提出

必ず 請求者名義の口座 を記入

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書(かいしょ)ではっきり書いてください。